



平成 26 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成 25 年 10 月 30 日

上場会社名 株式会社 植松商会

上場取引所 東

コード番号 9914

URL <http://www.uem-net.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 植松 誠一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 神 郁夫

(TEL) 022(232) 5171

四半期報告書提出予定日 平成 25 年 11 月 1 日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期の業績 (平成 25 年 3 月 21 日～平成 25 年 9 月 20 日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 3 月期第 2 四半期	3,013	1.2	19	23.2	48	8.5	34	△11.9
25 年 3 月期第 2 四半期	2,977	1.6	16	△30.7	45	△0.4	39	△28.4

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26 年 3 月期第 2 四半期	7.44	—
25 年 3 月期第 2 四半期	8.44	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26 年 3 月期第 2 四半期	3,949	2,571	65.1
25 年 3 月期	4,135	2,537	61.4

(参考)自己資本 26 年 3 月期第 2 四半期 2,571 百万円 25 年 3 月期 2,537 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25 年 3 月期	—	0.00	—	7.50	7.50
26 年 3 月期	—	0.00			
26 年 3 月期(予想)			—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 26 年 3 月期の業績予想 (平成 25 年 3 月 21 日～平成 26 年 3 月 20 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	6,150	4.9	49	157.9	102	45.7	72	△41.0	15.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	4,680,000株	25年3月期	4,680,000株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	46,774株	25年3月期	46,774株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	4,633,226株	25年3月期2Q	4,634,449株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期財務諸表 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第2四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8
(6) セグメント情報等 .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、新政権による経済対策（アベノミクス）が好感されたことで、円安・株高が進行し、景気回復の兆しは見られたものの、実体経済は依然厳しく、原材料価格の上昇や消費増税に対する不安感もあり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

当機械工具業界におきましては、海外向けの需要が堅調に推移する一方で、国内では上期における自動車分野の生産調整が見られるなど、主力となる自動車関連市場としても未だ確かな回復感を感じるまでには至っていない状況にあります。

このような経営環境の中におきまして当社は、主力の自動車関連市場はもとより堅調なスマートフォン・タブレット市場への積極的な注力を展開してまいりましたほか、モノづくりネットワーク商社として「お客様とお客様を結ぶかけ橋」を使命に“モノ・技術・情報”を結集し、新しいビジネスフィールドを切り拓いてまいりました。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高3,013百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益19百万円（前年同期比23.2%増）、経常利益48百万円（前年同期比8.5%増）、四半期純利益は34百万円（前年同期比11.9%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期会計期間末における総資産は、3,949百万円となり、前事業年度末に比べ、185百万円減少しました。この主な要因は、流動資産で現金及び預金62百万円、受取手形及び売掛金が70百万円、商品で51百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期会計期間末における負債合計は、1,378百万円となり、前事業年度末に比べ、218百万円減少しました。主な要因は、流動負債の支払手形及び買掛金が232百万円減少したこと等によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は、2,571百万円となり、前事業年度末に比べ、33百万円増加しました。主な要因は、配当金の支払いで34百万円の減少が有りましたものの、四半期純利益34百万円の計上と、その他有価証券評価差額金が33百万円増加したことによるものであります。

なお、当四半期会計期間末における自己資本比率は65.1%となり、前事業年度末に比べ、3.7ポイント上昇しております。

#### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ62百万円減少し456百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は、5百万円（前年同期比79.5%減）となりました。これは主に、税引前四半期純利益59百万円の計上と、売上債権の減少額70百万円及びたな卸資産の減少額51百万円、補助金の受取額56百万円等の増加要因がありましたものの、一方、仕入債務の減少額232百万円等の支出が上回ったことによるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、17百万円（前年同期比88.2%減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出9百万円及び投資有価証券の取得による支出7百万円等によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、39百万円（前年同期比47.1%増）となりました。これは、配当金の支払額34百万円と、ファイナンス・リース債務の返済による支出4百万円によるものであります。

### (3) 業績予想に関する定性的情報

当事業年度の業績予想につきましては、平成25年5月1日の「平成25年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### （2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成25年3月21日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる、当第2四半期累計期間の営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	518,828	456,828
受取手形及び売掛金	1,997,005	1,926,702
有価証券	—	150,027
商品	231,628	180,022
繰延税金資産	16,913	12,776
その他	72,059	16,130
貸倒引当金	△5,428	△3,128
流動資産合計	2,831,007	2,739,359
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	135,123	131,363
土地	189,441	189,441
その他(純額)	26,083	29,921
有形固定資産合計	350,649	350,726
無形固定資産		
投資その他の資産	10,971	13,616
投資有価証券	813,448	718,713
その他	138,998	136,046
貸倒引当金	△9,408	△8,473
投資その他の資産合計	943,039	846,286
固定資産合計	1,304,659	1,210,629
資産合計	4,135,666	3,949,988
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,322,361	1,090,005
未払法人税等	13,982	24,169
賞与引当金	18,600	19,300
役員賞与引当金	14,000	7,000
その他	92,086	86,552
流動負債合計	1,461,029	1,227,027
固定負債		
退職給付引当金	32,031	27,073
役員退職慰労引当金	55,600	58,700
その他	49,060	65,979
固定負債合計	136,692	151,752
負債合計	1,597,722	1,378,779

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月20日)	当第2四半期会計期間 (平成25年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,017,550	1,017,550
資本剰余金	1,174,661	1,174,661
利益剰余金	304,856	304,559
自己株式	△7,356	△7,356
株主資本合計	2,489,711	2,489,414
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	48,233	81,793
評価・換算差額等合計	48,233	81,793
純資産合計	2,537,944	2,571,208
負債純資産合計	4,135,666	3,949,988

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
売上高	2,977,822	3,013,083
売上原価	2,582,057	2,607,314
売上総利益	395,765	405,769
販売費及び一般管理費	379,693	385,975
営業利益	16,072	19,794
営業外収益		
仕入割引	20,844	22,311
その他	9,916	9,882
営業外収益合計	30,761	32,194
営業外費用		
支払利息	1,205	1,119
不動産賃貸費用	314	1,172
為替差損	46	746
その他	203	76
営業外費用合計	1,770	3,114
経常利益	45,063	48,873
特別利益		
受取損害賠償金	—	7,918
補助金収入	—	2,334
特別利益合計	—	10,252
特別損失		
固定資産除却損	1,670	—
特別損失合計	1,670	—
税引前四半期純利益	43,393	59,126
法人税、住民税及び事業税	4,302	21,294
法人税等調整額	—	3,379
法人税等合計	4,302	24,674
四半期純利益	39,090	34,452



(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成24年3月21日 至平成24年9月20日)	当第2四半期累計期間 (自平成25年3月21日 至平成25年9月20日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	43,393	59,126
減価償却費	9,108	10,758
賞与引当金の増減額(△は減少)	460	700
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,750	△7,000
災害損失引当金の増減額(△は減少)	△6,733	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△4,453	△4,958
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,050	3,100
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,165	△3,233
受取利息及び受取配当金	△6,344	△7,787
支払利息	1,205	1,119
受取損害賠償金	—	△7,918
補助金収入	—	△2,334
売上債権の増減額(△は増加)	132,234	70,303
たな卸資産の増減額(△は増加)	22,873	51,606
仕入債務の増減額(△は減少)	△179,789	△232,355
その他	△30,151	5,653
小計	△25,060	△63,220
利息及び配当金の受取額	7,214	6,866
利息の支払額	△1,205	△1,119
損害賠償金の受取額	—	7,918
補助金の受取額	—	56,450
法人税等の支払額	△9,100	△12,664
営業活動によるキャッシュ・フロー	△28,152	△5,767
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の取得による支出	△100,000	—
有価証券の償還による収入	100,000	—
有形固定資産の取得による支出	△27,389	△9,741
無形固定資産の取得による支出	—	△3,740
投資有価証券の取得による支出	△127,315	△7,375
貸付けによる支出	△1,600	△750
貸付金の回収による収入	3,279	2,346
その他	9,340	2,248
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143,684	△17,011
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△60	—
配当金の支払額	△23,172	△34,749
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,422	△4,471
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26,654	△39,220
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△198,492	△62,000
現金及び現金同等物の期首残高	518,370	518,247
現金及び現金同等物の四半期末残高	319,878	456,246

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

当社は、機械、工具及び産業機械・器具等の販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。